本文A：書かれた行動から考える

本文A「清書の紙」

放課後、紗季は掲示係の机に近づいた。昨日、自分の字を笑われた気がして、清書の紙をかばんに入れたままだった。

「もう一枚、任せていい？」と先輩が言った。紗季は「私でいいんですか」と聞き返した。先輩は、昨日の下書きの題名を指して「ここ、遠くからでも読めた」と答えた。

紗季は折り目を伸ばし、紙を机に置いた。「この大きさなら、どうですか」。帰りのチャイムが鳴っても、紗季は赤いペンを持ったまま、先輩の返事を待っていた。

本文へ戻る三つの問い

どの場面で、誰が何を言い、何をしましたか。

どの語句から、そのように読みましたか。

書かれていないことを足していませんか。

最初の読み / 根拠の言葉 / 別の可能性

説明例：根拠と解釈を結び、限界を残す

講師と読む例：一つの正解に固定しない

「紙をかばんに入れたまま」→清書を見せることをためらっていたと考えられる。

「紙を机に置いた」「どうですか」→自分から見てもらおうとする行動へ進んだと考えられる。

「笑われた気がして」は、他人が実際に笑った証拠とは分ける。

矢印 / 別の根拠 / まだ断定しないこと

説明するときの支え

「〜という言葉から、〜と考えた。ただし、〜までは分からない。」

同じ根拠で別の読みを説明できるか比べる。

言葉と読みの対応を動かして比べる

本文の言葉	自分の読み
私でいいんですか	折り目を伸ばした
返事を待っていた	ためらいかもしれない
もう一度見てほしいのかもしれない	別の読みもある

別の文章：本文Bを自分で読む

本文B「返却当番」

図書室の返却当番になった航は、箱から本を一冊ずつ出した。先に帰りたい友人が「まとめて棚に置こう」と言ったが、航は首を横に振った。

背表紙の番号が消えかけた本を、返却箱の隣によけた。「これ、どこに戻せばいいか分からないから」。友人はため息をつき、入口の時計を見た。

航はその本に紙をはさみ、司書の机に置いた。そのあと、友人の持つ本を半分受け取った。

C1〜C5はこの文章へ戻って考える

最初の説明は消さずに、本文の根拠を指します。

話した後に読みを変えた場合、何が理由かを残します。

気持ちが必ず変わったと決めません。

本文の言葉 / 行動 / 読み / 確定できないこと

C1〜C3：書かれたことと推測を分ける

C1. 本文Bから、航の動作を二つ抜き出し、それぞれ何をしている場面か説明してください。気持ちの推測は別に書きます。欄には「動作：」「推測：」と分け、続きは下の共有欄か紙へ書きます。

解答・理由を書く

C2. 本文Bの初めと終わりの航を比べます。変わった行動と、変わらないと考えられる点を一つずつ、本文の言葉を使って説明してください。

解答・理由を書く

C3.「友人はため息をついたから、航を嫌っている」と断定した読みがあります。本文に書かれたことと、そこからの推測を分け、断定を避けた説明に書き換えてください。

解答・理由を書く

続きはこの共有欄か紙へ：本文の言葉と説明を結ぶ

C4〜C6：比べて説明し、別の文章で確かめる

C4. 本文Bの「友人の持つ本を半分受け取った」を、二通りに読んで比べます。それぞれの読みの根拠と、本文だけでは言い切れない点を示してください。

解答・理由を書く

C5. 本文Bの航について、根拠を二つ以上使い、120〜160字程度で自分の読みを書いてください。本文の言葉と自分の説明をつなぎ、まだ判断できないことも一つ残します。字数はこの練習の目安です。

解答・理由を書く

C6. 本文C：教室を出た悠斗は、丸めた原稿を開き直した。書き込みだらけの一行をゆっくり読み、消さずにその横へ小さく言葉を足した。廊下から友人が呼んだ。悠斗は「あと少し」と答えた。 この人物の行動をどう読みますか。二つの語句を指して説明し、本文にない結果を加えていないか確かめてください。

解答・理由を書く

二つの読み / 別の説明 / 対話の後の修正